



第62回日本腹部救急医学会総会

ランチョンセミナー4

お腹痛い、ショック！

先生, PMX-DHP(エンドトキシン吸着療法) って要ります?

日 時

2026年3月12日(木) 11:45~12:35

会 場

第5会場

パシフィコ横浜 会議センター4F「414+415」

司 会

佐藤 格夫先生

愛媛大学大学院医学系研究科 救急医学講座

演 者

小林 誠人 先生

大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター／
外傷・急性期外科センター

血液浄化の気になる

論文紹介中！

東レ急性血液浄化ポータルサイト



[https://www.blood-purification.toray/
medical-personnel/](https://www.blood-purification.toray/medical-personnel/)

お腹痛い、ショック！先生, PMX-DHP(エンドトキシン吸着療法)って要ります？

小林 誠人 (大阪府済生会千里病院 千里救命救急センター／外傷・急性期外科センター)

腹腔内感染症は敗血症性ショックの主要因の1つであり、エンドトキシン吸着療法(PMX-DHP)の有効性については議論が続いてきました。近年のTIGRIS/EUPHRATES試験のベイジアン解析では、内毒素活性(EAA)0.60～0.89の中等度から重度のエンドトキシン血症患者群において、PMX-DHPによる28日および90日死亡率の改善が示唆されています。また国内の知見からはSOFAスコア7～12点の患者層や、血管作動薬開始後早期(9時間以内)の導入において、より良好な転帰が得られる傾向が報告されています。本講演では、PMX-DHPの恩恵を受けうる患者層の同定と適切な介入タイミングについて考察し、皆様とその結果を共有出来ましたら幸いです。